

1 基本項目	事務事業名	芸術文化振興事業			担当	課等名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	芸術文化振興事業			係	名	生涯学習・文化係
	新規・継続区分	継続事業			電話番号		0765-23-1045
	事務区分	自治事務			會計		一般会計
	事業期間	開始年度	不明	終了年度	当面継続		
	目標名	目標2. 未来につなぐまち			款		教育費
	政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり			項		社会教育費
	施策名	施策15. 芸術文化・スポーツの振興			目		文化費
	基本事業名	基本事業15ー1. 芸術文化活動の推進			総合計画主な事業	記載あり（評価対象）	
	根拠法令				総合戦略との関連	関連なし	
	アウトソーシング導入状況				集中プランとの関連	関連なし	
					評価対象年度の重点事業	非該当	

2 事業概要	事業概要	・新川学びの森天神山交流館について、令和4年度よりIMF棟に建物を貸し、宿泊棟及び体育館を富山みらい学園未来高等学校が使用することとなった。音楽棟部分を運営する一般社団法人にいかわ学びの森みらい会議 敷地内でワイナリーを運営する株式会社丸八と教育委員会の4者が連携し、交流館及び地域の活性化のための事業に対する支援を通し芸術文化の振興を図る。（一社）にいかわ学びの森みらい会議が開催する「学びの森音楽祭」等に支援を行う。 ・市民に優れた音楽・舞台芸術等の鑑賞機会を提供し、文化芸術の裾野の拡大と振興を図る。特別事業として、飯山市との協力により「高橋まゆみ人形展」を実施する。 ・市民文化祭の開催により各種文化団体・個人に対して普段の活動に対する発表の場を提供する。
	対象	施設、施設利用者、市民、各種団体等
	手段（活動指標）	・学びの森の振興について、定期的な4者協議の開催により各団体の情報交換や施設管理に係る情報を共有し、安定的な運営がされるように適切な支援を実施する。 ・学びの森みらい会議が実施する、学びの森活性化事業や教育機関での出前コンサートや音楽指導等について支援を実施する。学びの森音楽祭やとやま室内楽フェスティバルを支援する。 ・芸術文化団体や中学校文化連盟に補助金を交付し、活動を支援する。文化事業の後援・共催、文化芸術団体との連絡調整を行う。
	意図（成果指標）	・（株）IMFや未来会議等に対して適切な支援を実施することで、学びの森交流館の安定的な運営が行われる。 ・市民に対し、身近に音楽を聴ける環境を作り出すことで、活気と楽しさをもたらす。小中学生に対し、専門家による直接指導により、音楽に対する関心を高めるとともに、演奏技術をアップさせる。 ・生涯学習の場を提供することで、市民の学ぶことへの意欲や教養を高める。

3 指 標	活動指標名・成果指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			R7年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 国県等の補助事業開催数	件	1	1	2	1	50.0%	2
		② 学びの森交流館で実施した企画数	件	25	23	30	27	90.0%	30
	成果	① 学びの森交流館で実施した企画に対する参加者数	人	2,211	2,056	2,300	2,176	94.6%	2,300
		② 市民文化祭への参加人数	人	3,696	2,984	3,700	3,152	85.2%	3,200

区 分		単位	R4年度	R5年度	R6年度				R7年度		
			決算額	決算額	予算現額	決算額	次年度への繰越額	決算増減率	当初予算額		
4 コスト情報	事業費	事業費合計 (A)	円	9,837,300	14,361,836	17,384,000	14,281,946		-0.6%	12,902,000	
		財源内訳	①国庫支出金	円	0	0	0	0			0
			②県支出金	円	0	0	0	0			0
			③地方債	円	0	0	0	0			0
			④その他（使用料、雑入等）	円	6,683,393	7,585,390	7,841,000	2,268,641		-70.1%	8,789,000
			⑤一般財源	円	3,153,907	6,776,446	9,543,000	12,013,305		77.3%	4,113,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	3	—	50.0%	2	
		②年間所要時間	時間	1,660	1,560	1,600	900	—	-42.3%	1,600	
		③人件費（②×@ 4,104 円）(B)	円	6,812,640	6,402,240	6,566,400	3,693,600	—	-42.3%	6,566,400	
	総	費用 (A+B)	円	16,649,940	20,764,076	23,950,400	17,975,546		-13.4%	19,468,400	

5 取組内容	令和6年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等									
	・学びの森に関係する4者において、情報交換会を定期的実施した。 ・学びの森の施設の維持管理に係る一部修繕を行った。（外構部分等） ・にいかわ学びの森みらい会議の実施する賑わい創出事業、学びの森音楽祭実行委員会、日米青少年国際ピアノ親善交流事業に対する事業の支援を行った。 音楽に関する講座としては、青少年の吹奏楽の講座（4/19～21）、音楽愛好家を対象とした講習会（8/7～11）を実施した。 演奏会は、池辺晋一郎講師による音楽講座（2/16）、図書館でのコンサート（4/20）、市民のためのクラシック講座「0歳からの音楽会」（6/1,9/29）、「Tanksクリスマスminiコンサート」（12/22）を開催した。 小中学生のための音楽推進事業として、中学校合唱祭の事前指導、本番審査及び演奏、小学校卒業式に向けた歌唱指導を行った。 ・小中学生を対象とした舞台芸術鑑賞会を実施した。（谷桃子バレエ団） ・芸術文化団体や中学校文化連盟に補助金を交付し、活動を支援した。 ・文化事業の後援・共催の承認手続きを行った。									

6 評 価	評価の視点	R5評価	R6評価	個別評価の項目	個別評価の判定	今後の方針	
	妥 当 性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である	○ 現状を維持	事業の拡充
				② 目的の妥当性	1 妥当である	事業の縮小	統合等の検討
				③ 対象の妥当性	1 妥当である	事業の休止	終了又は廃止
	有 効 性	B	B	① 目標達成度	2 目標どおり	方針の説明等	
				② 類似事業の有無	1 なし	学びの森については普通財産として(株)IMFに土地及び建物を無償貸与し、R4年度から館の運営は(株)IMFが行う。音楽棟部分を利活用することとなる民間団体に対しては、学びの森の賑わい創出に係る取組への支援が必要である。幅広い市民が芸術文化に触れられる機会を拡大しながら、市内の芸術文化の振興に取り組む必要がある。	
				③ 上位施策への貢献度	2 普通		
	効 率 性	B	B	① コスト効率	2 普通		
				② 実施主体の適正化	1 適正である		
				③ 負担割合の適正化	1 適正である		
	結果(総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり			

1 基本項目	事務事業名				新川文化ホール事業	担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課				
	予算事業名				新川文化ホール事業		係名	生涯学習・文化係				
	新規・継続区分				継続事業		電話番号	0765-23-1045				
	事務区分				自治事務	予算科目	会計	一般会計				
	事業期間				開始年度		平成6年度	終了年度	当面継続	款	教育費	
	総合計画	目標名					目標2. 未来につなぐまち				項	社会教育費
		政策名					政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり				目	新川文化ホール費
		施策名					施策15. 芸術文化・スポーツの振興				総合計画主な事業	
	基本事業名				基本事業15－1. 芸術文化活動の推進				総合戦略との関連		関連なし	
	根拠法令								集中プランとの関連		関連なし	
アウトソーシング導入状況				アウトソーシング導入済（指定管理者制度）				評価対象年度の重点事業		非該当		

2 事業概要	事業概要	・（公財）富山県文化振興財団を指定管理者とし、施設利用者が快適かつ安全に使用できるよう管理運営を委託。また、多彩な事業の実施を 促進鑑賞と参加の機会を広く市民に提供する。 ・新川文化ホールにおいて、児童・生徒に優れた音楽、本物の舞台芸術等の鑑賞機会を提供し、芸術文化により親しみと関心を深めてもら う。
	対象	市民、各種団体等、市内中学2年生、市内小学5・6年生
	手段 （活動指標）	・（公財）富山県文化振興財団を指定管理者とし管理運営を委託。指定管理者において、施設維持管理や利用料金徴収業務のほか、多彩な自主 企画事業や魅力ある市民文化祭・市美術展を実施する。 ・中学生舞台芸術鑑賞会（中学2年生対象）、小学生舞台芸術鑑賞会（小学5・6年生対象）を実施する。
	意図 （成果指標）	・施設利用者（市民・文化団体・アーティスト等）が快適かつ安全に利用できる施設を維持する。施設を利用することにより文化活動が充実す る。文化の情報と交流の場を市民に提供し、市民文化の創造及び振興を図る。 ・芸術文化に対する興味が高まる。豊かな心や感性・創造性が育まれる。

3 指 標	活動指標名・成果指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			R7年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 利用件数	件	2,649	2,791	3,000	2,693	89.8%	3,000
		② 利用料金	円	17,547,925	15,809,473	16,000,000	15,171,130	94.8%	16,000,000
	成果	① 企画事業の延べ入場者（参加者）数	人	23,859	20,931	24,000	25,132	104.7%	26,000
		②							

4 コスト情報	区 分		単位	R4年度	R5年度	R6年度				R7年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	次年度への繰越額	決算増減率	当初予算額
	事業費 財源内訳	事業費合計（A）	円	80,432,802	99,649,778	123,773,000	120,171,350		20.6%	120,701,000
		①国庫支出金	円			18,761,000	16,000,000			
		②県支出金	円			0	0			
		③地方債	円		19,800,000	20,100,000	34,400,000		73.7%	37,100,000
		④その他（使用料、雑入等）	円	190,000	293,723	3,520,000	312,401		6.4%	220,000
		⑤一般財源	円	80,242,802	79,556,055	81,392,000	69,458,949		-12.7%	83,381,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	2	2	—	-33.3%	2
		②年間所要時間	時間	540	540	540	500	—	-7.4%	800
		③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円	2,216,160	2,216,160	2,216,160	2,052,000	—	-7.4%	3,283,200
	総 費 用（A+B）		円	82,648,962	101,865,938	125,989,160	122,223,350		20.0%	123,984,200

5 取組内容	令和6年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等									
	○基本協定書・年度協定書に基づき指定管理料を支払った。 ○魚津市民文化祭（10月26,27日）、第64回魚津市美術展（11月2日～11月7日）を開催した。									

6 評 価	評価の視点	R5評価	R6評価	個別評価の項目	個別評価の判定		今後の方針	
	妥 当 性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である		○現状を維持	事業の拡充
				② 目的の妥当性	1 妥当である		事業の縮小	統合等の検討
				③ 対象の妥当性	1 妥当である		事業の休止	終了又は廃止
	有 効 性	A	B	① 目標達成度	2 目標どおり		方針の説明等	
				② 類似事業の有無	1 なし		市民が多様な芸術文化に触れるとともに、地域の文化資質の向上に貢献する施設となるよう指定管理者と連携しながら事業を進めていく。また、施設の老朽化に伴い、大規模なものを含む修繕が増えており、指定管理者と協議しながら、計画的に修繕を進めていく必要がある。	
				③ 上位施策への貢献度	2 普通			
	効 率 性	B	B	① コスト効率	2 普通			
				② 実施主体の適正化	1 適正である			
				③ 負担割合の適正化	1 適正である			
結果(総括)	A	B	管理運営の進め方・内容について改善の余地あり					

1 基本項目	事務事業名	スポーツ選手等強化育成事業			担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	スポーツ選手等強化育成事業			係名	スポーツ係	
	新規・継続区分	継続事業			電話番号	0765-23-1046	
	事務区分	自治事務			会計	一般会計	
	事業期間	開始年度	不明	終了年度	当面継続	款	教育費
	目標名	目標2. 未来につなぐまち			項	保健体育費	
	政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり			目	保健体育総務費	
	施策名	施策15. 芸術文化・スポーツの振興			総合計画主な事業	記載あり（評価対象）	
	基本事業名	基本事業15ー2. スポーツ活動の推進			総合戦略との関連	関連なし	
	根拠法令				集中プランとの関連	関連なし	
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済（業務委託）			評価対象年度の重点事業	非該当	

2 事業概要	事業概要	競技スポーツ選手のレベルの向上を図るための取り組みを行う。 ①全国大会等へ出場した選手及び監督への奨励金の支給、②桑山賞の授与、③ジュニア選手(スポ少)の強化育成、指導者講習の補助の実施、④強豪選手・チームの招へいによるスポーツ教室の開催支援					
	対象	全国大会等へ出場した選手及び監督、スポ少等、競技スポーツ選手及び指導者					
	手段 (活動指標)	・スポーツ指導者育成研修会の開催数					
	意図 (成果指標)	・奨励金申請件数 ・全国大会（国民体育大会・全国高等学校総合体育大会・全国中学校体育大会）出場者数					

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			R7年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① スポーツ指導者育成研修会の開催数	回	1	1	1	1	100.0%	1
		②							
	成果	① 奨励金申請件数	件	200	215	200	196	98.0%	200
		② 全国大会出場者数	人	146	142	100	135	135.0%	100

4 コスト情報	区 分		単位	R4年度	R5年度	R6年度				R7年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	次年度への繰越額	決算増減率	当初予算額
	事業費 財源内訳	事業費合計 (A)	円	3,690,376	4,075,202	4,054,000	4,018,160		-1.4%	4,054,000
		①国庫支出金	円							
		②県支出金	円							
		③地方債	円							
		④その他（使用料、雑入等）	円	1,581	1,758	201,000	48,986		2686.5%	298,000
		⑤一般財源	円	3,688,795	4,073,444	3,853,000	3,969,174		-2.6%	3,756,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	4	4	4	4	—	0.0%	4
		②年間所要時間	時間	1,100	1,100	1,100	1,100	—	0.0%	1,100
		③人件費（②×@ 4,104 円）(B)	円	4,514,400	4,514,400	4,514,400	4,514,400	—	0.0%	4,514,400
	総 費 用 (A+B)		円	8,204,776	8,589,602	8,568,400	8,532,560		-0.7%	8,568,400

5 取組内容	令和6年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等									
	・スポーツ競技大会出場奨励金（全国大会等へ出場した選手や監督に対する奨励金の支給） ・桑山スポーツ賞の授与（1団体） ・選手強化育成事業（ジュニア選手強化育成、スポーツ指導者育成研修会の開催支援） ・選手派遣補助事業（県大、北信越大会、全国大会出場へ出場した中学生に対する交通費等の補助）									

6 評 価	評価の視点	R5評価	R6評価	個別評価の項目		個別評価の判定	→	今後の方針	
	妥 当 性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である	○現状を維持		事業の拡充	
				② 目的の妥当性	1 妥当である	事業の縮小		統合等の検討	
				③ 対象の妥当性	1 妥当である	事業の休止		終了又は廃止	
	有 効 性	A	A	① 目標達成度	1 高い	方針の説明等			
				② 類似事業の有無	1 なし	スポーツ振興及び競技力向上を図るとともに、全国大会等へ出場する選手の負担軽減を図るため、奨励金の支給制度は必要であり、他市と比較しながら制度の見直しにも取り組む必要がある。ジュニア育成に関しては、今後もスポーツ協会と連携し、効果的な取組とする必要がある。			
				③ 上位施策への貢献度	1 高い				
	効 率 性	A	A	① コスト効率	1 高い				
				② 実施主体の適正化	1 適正である				
				③ 負担割合の適正化	1 適正である				
結果(総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当						

1 基本項目	事務事業名	スポーツコミッション事業			担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	市民体育大会等開催支援事業			係名	スポーツ係	
	新規・継続区分	継続事業			電話番号	0765-23-1046	
	事務区分	自治事務			会計	一般会計	
	事業期間	開始年度	令和3年度	終了年度	当面継続	款	教育費
	目標名	目標2. 未来につなぐまち			項	保健体育費	
	政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり			目	保健体育総務費	
	施策名	施策15. 芸術文化・スポーツの振興			総合計画主な事業	記載あり（評価対象）	
	基本事業名	基本事業15ー2. スポーツ活動の推進			総合戦略との関連	関連あり（評価対象）	
	根拠法令				集中プランとの関連	関連なし	
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済（業務委託）			評価対象年度の重点事業	非該当	

2 事業概要	事業概要	市、スポーツ団体、民間企業等が一体となってコミッションを設立し、スポーツによるまちづくり、地域活性化を推進するもの。 ①市民スポーツ大会の委託、②各種大会の支援（しんきろうマラソン大会、全日本大学女子野球大会、富山県青少年相撲選手権大会、TJAR（トランスジャパンアルプスレース）、富山トップチームふれあい事業等）、③「UO!SPO!」開催、④共生社会普及活動地業、⑤スポーツクリニック開催	
	対象	市民、スポーツ団体、企業、大会等参加者、関係者	
	手段（活動指標）	・市民体育大会夏季・冬季運営委託料 ・スポーツクリニックの開催数	
	意図（成果指標）	・しんきろうマラソン参加者数 ・全日本大学女子野球大会チーム数	

3 指 標	活動指標名・成果指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			R7年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 市民体育大会夏季・冬季運営委託料	円	1,950,000	1,950,000	1,750,000	1,750,000	100.0%	1,750,000
		② スポーツクリニック開催数	回	3	3	3	3	100.0%	3
	成果	① しんきろうマラソン申込者数	人	2,671	3,553	5,000	4,247	84.9%	5,000
		② 全日本大学女子野球大会チーム数	チーム	14	13	15	13	86.7%	15

4 コスト情報	区 分		単位	R4年度	R5年度	R6年度				R7年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	次年度への繰越額	決算増減率	当初予算額
	事業費 財源内訳	事業費合計（A）	円	15,035,997	10,778,919	11,890,000	11,196,063		3.9%	10,416,000
		①国庫支出金	円							
		②県支出金	円							
		③地方債	円							
		④その他（使用料、雑入等）	円	3,200,000	10,700,000	3,500,000	3,500,000		-67.3%	7,400,000
		⑤一般財源	円	11,835,997	78,919	8,390,000	7,696,063		9651.9%	3,016,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	—	0.0%	3
		②年間所要時間	時間	600	600	600	600	—	0.0%	600
		③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円	2,462,400	2,462,400	2,462,400	2,462,400	—	0.0%	2,462,400
	総 費 用（A+B）		円	17,498,397	13,241,319	14,352,400	13,658,463		3.2%	12,878,400

5 取組内容	令和6年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等									
	・市民スポーツ大会事業補助 ・市民体育大会運営及び県民体育大会選手派遣業務 ・しんきろうマラソン補助 ・全日本大学女子野球選手権大会補助 ・パナソニックスポーツクリニック開催（6月バレーボール、7月ラグビー、9月野球） ・トランスジャパンアルプスレース事業（レース開催）									

6 評 価	評価の視点	R5評価	R6評価	個別評価の項目	個別評価の判定	→	今後の方針	
	妥 当 性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である		○現状を維持	事業の拡充
				② 目的の妥当性	1 妥当である		事業の縮小	統合等の検討
				③ 対象の妥当性	1 妥当である		事業の休止	終了又は廃止
	有 効 性	A	A	① 目標達成度	1 高い		方針の説明等	
				② 類似事業の有無	1 なし		市民スポーツ大会、マラソンや女子野球等の市全体に関わる大規模な大会には運営補助を行うことは適当と考える。マラソンは、引き続きtoto助成金の活用により単費を補うが、女子野球の単費を補う財源確保の課題は残る。また、クリニックでのトップ選手による指導は、選手・指導者のレベル向上に非常に効果が高く、今後も充実に努めたい。	
				③ 上位施策への貢献度	1 高い			
効 率 性	A	A	① コスト効率	1 高い				
			② 実施主体の適正化	1 適正である				
			③ 負担割合の適正化	1 適正である				
結果(総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当					

1 基本項目	事務事業名				体育施設管理事務	担当	課	等	名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名				体育施設管理費	係	名			スポーツ係
	新規・継続区分				継続事業	電	話	番	号	0765-23-1046
	事務区分				自治事務	予	会	計		
	事業期間				開始年度	昭和32年	終了年度	当面継続		
	総合計画	目標名				目標2. 未来につなぐまち				
		政策名				政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり				
		施策名				施策15. 芸術文化・スポーツの振興				
		基本事業名				基本事業15-2. スポーツ活動の推進				
	根拠法令									総合計画主な事業
アウトソーシング導入状況				アウトソーシング導入済（指定管理者制度）					総合戦略との関連	関連なし
									集中プランとの関連	関連あり（評価対象）
									評価対象年度の重点事業	非該当

2 事業概要	事業概要	スポーツ施設の適正な維持管理、利用者サービスに努め、有効的な利用促進を図り、市民の健康増進及び誰もが気軽にスポーツに親しめる環境を整える。 ①対象施設：吉田グラウンド、室内温水プール、弓道場、天神山野球場、魚津桃山運動公園、魚津テクノスポーツドーム ②平成18年度から指定管理者制度による維持管理、運営 現在の事業者：（公財）魚津市スポーツ協会					
	対象	市民、管理施設（ありそ、天神山野球場、吉田グラウンド、室内温水プール、弓道場、桃山運動公園）					
	手段（活動指標）	（公財）魚津市スポーツ協会を指定管理者とし指定管理料を支払い、管理運営を委託した。また、施設の修繕（規模が大きく金額で300千円以上）等を行った。					
	意図（成果指標）	事業の対象となる施設の利用者数及び定期的にスポーツを行う市民の増加					

3 指 標	活動指標名・成果指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			R7年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 施設修繕（300千円以上）	件	2	2	2	2	100.0%	2
		② 指定管理委託料	円	182,698,000	186,485,031	169,613,000	191,414,476	112.9%	153,474,000
	成果	① 対象スポーツ施設の利用者数	人	297,840	301,559	400,000	329,683	82.4%	400,000
		②							

4 コスト情報	区 分		単位	R4年度	R5年度	R6年度				R7年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	次年度への繰越額	決算増減率	当初予算額
	事業費	事業費合計（A）	円	216,026,603	216,397,342	253,444,060	252,634,299	21,170,000	16.7%	272,552,000
		①国庫支出金	円							
		②県支出金	円							
		③地方債	円		4,600,000	59,400,000	63,000,000		1269.6%	55,700,000
		④その他（使用料、雑入等）	円	6,677,735	6,789,667	7,413,000	4,889,352	18,600,000	-28.0%	15,530,000
		⑤一般財源	円	209,348,868	205,007,675	186,631,060	184,744,947	2,570,000	-9.9%	201,322,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	—	0.0%	3
		②年間所要時間	時間	1,400	1,400	1,400	1,400	—	0.0%	1,400
		③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円	5,745,600	5,745,600	5,745,600	5,745,600	—	0.0%	5,745,600
	総 費 用（A+B）		円	221,772,203	222,142,942	259,189,660	258,379,899	21,170,000	16.3%	278,297,600

5 取組内容	令和6年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等									
	・学校体育施設の夜間開放利用実績（計2,614回・▲107回、延べ33,039人・▲1,665人、R6収納額1,944,100円） ・旧小学校体育施設の日中開放等利用実績（計1,450・+397回、延べ22,240人・2,749人、R6収納額676,850円） ・体育施設の指定管理（総合体育館、天神山野球場、魚津桃山運動公園、魚津テクノスポーツドーム） ・指定管理施設の30万円以上修繕等（桃山運動公園野球場放送設備（スピーカー等）修繕工事、魚津テクノスポーツドーム電動ブラインド修繕工事、魚津テクノスポーツドーム事務室系統空調機更新工事） ・桃山野球場ラバーフェンス広告料収入（20区画・500千円） ・スポーツ施設長寿命化計画策定に基づく修繕（魚津テクノスポーツドーム電気室蓄電池設備整流器更新工事、魚津テクノスポーツドーム非常用自家発電設備修繕工事） ・学校開放施設の運営・管理、使用料徴収、環境改善（ウレタン塗装工事）									

6 評 価	評価の視点	R5評価	R6評価	個別評価の項目		個別評価の判定	→	今後の方針	
	妥 当 性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である	○現状を維持		事業の拡充	
				② 目的の妥当性	1 妥当である	事業の縮小		統合等の検討	
				③ 対象の妥当性	1 妥当である	事業の休止		終了又は廃止	
	有 効 性	A	A	① 目標達成度	1 高い	方針の説明等			
				② 類似事業の有無	1 なし	スポーツ施設長寿命化計画に基づき、施設管理者と情報交換しながら、計画的・効果的な維持管理を実施する。財源には、可能な範囲でtoto助成金を活用するよう調整を図る。令和8年度から新プールを含めた体育施設一括による指定管理を開始できるよう更新準備を進める。			
				③ 上位施策への貢献度	1 高い				
	効 率 性	A	A	① コスト効率	1 高い				
				② 実施主体の適正化	1 適正である				
				③ 負担割合の適正化	1 適正である				
結果(総括)	A	A	現行どおり管理運営を行うことが適当						